

子育て環境の整備

核家族化や地域のつながりの希薄化など、子どもや子育てをめぐる環境は厳しくなっています。本市ではこうした子育て世代の声を受け、様々な環境整備に努めています。

低年齢児を中心とした保育需要の増大に対応するため、保育園の建て替えなどで、園児の受け入れ拡大を進め、

市長室より

Next!
岡崎
次の新しい おかざき



岡崎市長
内田 康宏

この3年間で、公私立合わせて定員を280人、保育士を35人増員しています。また、放課後児童対策については、待機児童の増加が予想される学区に、放課後児童クラブなどの整備を計画的に行っています。平成28年度末までに児童育成センターを新たに7カ所整備し、学区子どもの家を活用した放課後子ども教室を20学区増やして、28学区で実施するなど、児童が安全・安心に過ごせる居場所確保にも努めています。更に、市立小中学校の給食は、おいしく、安全・安心を第一に提供していますが、4月分の給食費を無料にすることで保護者の経済的負担を軽減します。また、これにより、年度初めの多忙な時期に教師の事務負担を軽減し、子どもに向き合う時間も確保していきます。これからも子育て世代の目線に立ち、本市の実情に即した施策を積極的に進めてまいります。